

今日からわたしは「ポイ捨てしま宣言！」



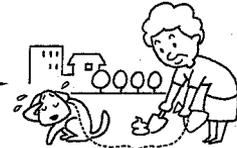
清潔で美しいまちづくりを目指して、7月1日からポイ捨て等防止条例が施行されました。この条例のあらまは下の図のとおりです。あなたの「モラル」に期待します。

空き缶、吸い殻、ガムなどの持ち帰り



市民などは
(市内通過者を含む)

- ふんの即時回収
- 公園の砂場でのふん禁止

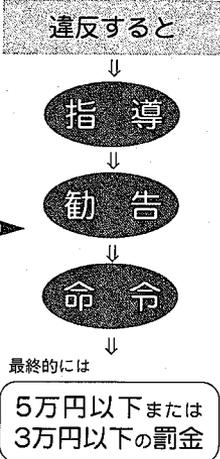


犬の飼い主は

- 回収容器の設置
- 回収容器の適正管理



事業者は



ポイ捨て等防止条例施行にあたって

簡井 伍 (新津ロータリークラブ環境保全委員長)

私は四十年強にわたる新津市外から市内の企業に通勤し、新津市の移り変わりについて強い関心を持って目にし、いろいろな感慨を抱いています。

新津市では、指定袋制によるごみの減量化に続き、ポイ捨て等防止条例が施行されました。これは、身近な環境を守り、街全体をより美しく変えていくため、市民一人ひとりがその意識を共有する手段として制定されたものと理解しています。個人が守るべき「モラル」とともに、必要な施策の一つであると思います。

私は、住んでいる町から会社までの一村一市として新津市と通勤道路周辺に落ちていた空き缶、ビニール袋、タバコの吸い殻等について約十日間観察してみました。私なりに判定した結果は、新津市：90点、S市：50点、K村：60点、N町：70点となりました。

六月一日号の広報では、新津市のポイ捨て状況が掲載されましたが、私は日に日に良くなっていくのと思っています。誇りを持って美しい街と環境を守られることを期待します。

新津丘陵とごみ

松岡 光平 (いしがた森林の仲間会幹事)

森のレンジャーの活動の一環として新津丘陵の遊歩道をパトロールしている立場から、ごみポイ捨ての状況をお知らせします。

最初は、ハイカーのモラルの良さからか、おおむね目立つごみはほとんどなく、先日も市外のグループから「ごみがなくきれいですね」と言われてうれいしい思いがしました。

しかし、私の目から見ると、休憩所にはタバコの吸い殻、食べ物の包装紙、食べ殻などのポイ捨てが一部で見受けられる場合があります。残念でなりません。たとえ少量でも、動植物の生態系に悪影響を及ぼさないとはいえないからです。

特にタバコ、喫煙者は山に入るときには必ず携帯用の灰皿を持参してもらいたいです。山火事の防止にもつながります。携帯用の灰皿は市販品もありますが、手身近にあるプラスチックのフィルムケースに少量の水を入れただけでも十分活用できます。

山にごみを残さない、残すのは足跡だけ！

7月1日からペットボトルも資源ごみ収集



左のリサイクルマークがついているペットボトルを、月2回の資源の日に、ごみステーションの「ペットボトル回収用コンテナ(灰色)」に入れてください。ペットボトルは、軽くすすいで乾かし、キャップを外してから出してください。ラベルははがさなくても結構です。つぶして出してもかまいません。

クリーンセンターからお願い

● 分別の徹底を

最近、燃えるごみ袋の中に燃えないごみが入っているなど分別がきられなくとされているごみが多くみられます。正しく分別されていないと焼却炉の故障原因となります。皆さんの家庭に配布した「ごみの分け方・出し方」に従い出してください。

● 指定袋に入れたごみはごみステーションへ

クリーンセンターに、大型ごみと一緒に指定袋に入ったごみを持ち込むケースが増えています。一緒に持ち込むと、別々に重さを計るため、混雑時には渋滞してしまいます。指定袋入りのごみは、できるだけごみステーションへ出してください。

環境家計簿でエコライフの実践を

環境に配慮したライフスタイルで日常生活から地球温暖化防止対策を進めるため、環境家計簿をつけてみませんか。

◇対象 市内に住んでいる人 (一人暮らしを除く)

◇期間 平成11年8月から1年間

◇定員 10名(申込順)

◇申込み 7月9日(金)までに、市民生活課環境衛生係(☎24-2111内線233)へ。参加者に、市内で回収した古紙を使ったリサイクル品をプレゼント

ようと思えます。

ごみ問題の講演を聞いて

渡辺舞(第二中三年)

私は「ごみ」についてあまり深く考えたことがありませんでした。しかし、今日の講演を聞き始めて分かったことがたくさんありました。

まずはじめにびっくりしたことは、あと一年しかごみ処理施設がたないということです。私たちが少しでもごみを減らさなければならぬのだと痛感しました。次に、一年に一万七千トンのごみが出ていること。私たちがリサイクルや生ごみを肥料にすることをもっと心掛けるべきだと思いました。そして、ごみを少しでも減らすためにはごみを分別することが大切だということが変わりました。

今日聞いたことを忘れずにごみを少しでも減らすために、私のできる身近なところから努力していこうと思います。



ごみ収集車デザインマーキング採用作品発表!

リサイクルとポイ捨てをテーマに募集したイラストとキャッチコピーが次のとおり決まりました。多数の応募ありがとうございました。下のイラストが描かれた収集車が、7月1日から市内を走ります。



★リサイクル部門
イラスト：渡辺唯さん(11歳、東町)
キャッチコピー：熊倉彩さん(9歳、東島)



★リサイクル部門
イラスト：清田佐知子さん(9歳、美幸町)
キャッチコピー：城向政秀さん(54歳、新金沢町)



★ポイ捨て部門
イラスト・キャッチコピー：野本裕紀さん(28歳、新潟市)

整美委員会の活動から

加藤理恵子(第二中一年)

六月四日、新津第一中学校で環境教育の講演会が行われました。市民生活課長から「新津市のごみの現状と、今、みんなができるごみの軽減について」の話の聞いた中学生の感想をご紹介します。

整美委員会の活動から

私は、中学生になって整美委員会に入りました。整美委員会では、金曜日の外清掃やごみチェック当番の仕事があります。外清掃の時は、ごみを拾っています。その時によく紙が落ちています。登下校の時にも、缶がよく落ちていて、公衆電話のドアに缶がはさまっていることもありました。

市民生活課長さんの話を聞いて、私の家ではちゃんと分別しているつもりだったのにあまりできていなかったし、リサイクルもしていませんでした。私はいつもごみのことや地球温暖化や環境のことばかり考えていませんでした。今までごみが落ちていたのを知っていたのに知らないうちにしてきたので、これからはごみを見つけたら拾って、リサイクルできないかを確かめてから捨てるようにしようと思えます。

▽ごみ指定袋取扱所の追加(7月1日から)：Yショップかとう(浦興野)、いとう商店(秋葉1)
▽ごみ指定袋取扱所の変更(7月2日から)：サンドラッグ春日の山先店(本町4)が移転し、東町店(東町1、工業高校前)に。